

## <令和7年11月定例記者会見>

### 1 開催日時

令和7年11月7日（金）午前10時30分～午前11時00分

### 2 場所

滝沢市役所 庁議室

### 3 来庁した報道機関

岩手ケーブルテレビジョン、読売新聞社、岩手日報社

### 4 発表事項

#### （1）高齢者等を対象とする見守りに関する協定の締結について（地域包括支援センター）

株式会社ベルジョイス様、株式会社とくし丸様から、今後の顧客様への買い物支援業務の中で、認知機能の低下や詐欺被害が懸念される高齢者への対応について、本市との連携のお申し出がありました。

協力内容は、高齢者に何らかの異変等を察知した場合に、地域包括支援センターや関係機関へ連絡をいただくというものです。

本協定により、様々な立場から地域の見守りが活発に行われることで高齢者の孤立の防止や異変の早期発見につなげ、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりにつながることから、協力協定を締結することといたしました。

定例記者会見に引き続き、本協定の締結式を行います。引き続き、取材方よろしくお願ひいたします。

#### （2）令和7年度滝沢市避難所体験会の実施について（防災防犯課）

災害発生時に円滑な避難所の開設・運営ができるようにすることを目的とした避難所体験会を今年度も実施します。

昨年度、滝沢ふるさと交流館で初めて実施し、今年度で2回目となる事業ですが、昨年度と地域を変えて、今回は葉の木沢山活動センターにて11月22日（土）に実施します。市民参加公募型で、本日まで参加者を募集しております。

当日は、避難所における生活体験のほか、非常食の試食を行う予定です。また、完成前の段階になりますが、葉の木沢山活動センターに設置する非常用発電設備の見学も併せて行う予定で考えております。

事前の周知及び当日の取材につきまして、どうぞよろしくお願ひいたします。

#### （3）「たきざわ自分ごと化会議」の開催について（たきざわ魅力発信室）

これまで、「市政懇談会」「市長と話そう」などの機会を通して市民の皆さまとの意見交換を実施してきましたが、より多くの皆さまから多様な声を聴きたいという思いから、「たきざわ自分ごと化会議」を全4回の日程で開催します。

自分ごと化会議とは、無作為抽出で選ばれた市民の皆さんの中、希望者をメンバーとして、さまざまなテーマについて話し合う場です。何かを決定する場ではなく、テーマを「自分ごと」としてとらえ、「自分たちなら何ができるか」「どうすれば市がもっと良くなるか」をメンバーで考えていくことを目的としており、本年で2年目の

開催となります。

今回、無作為抽出した1,400人の市民の皆さんへ案内を送付し、現在、21名の皆さんから参加希望をいただいております。

メンバーの皆さんと一緒に、テーマについて、そして滝沢市のこれからについて、ファシリテーターを中心楽しく有意義な議論を進めていきます。ぜひ取材方よろしくお願ひいたします。

#### (4) 菊川産業祭2025及び(株)ミクニ菊川事業所への物産PRに係る出展について (観光物産課)

11月16日(日)に静岡県菊川市において開催される「菊川産業祭2025」に、市及び(一社)滝沢市観光物産協会が市特産品PRを目的に出展いたします。

この出展は、当市が菊川市と「災害時等の相互応援に関する協定」を締結しており、農産物による産地交流と相互連携の強化を期待し、令和元年度から実施しているものです。

当日は滝沢市の特産品である「りんご」や「かんしょ(さつまいも)」のほか、滝沢りんごワイン・ポム・やポム・シードル、滝沢りんごのジャムやりんごジュースなどの加工品も販売いたします。

さらに、翌日の11月17日(月)には市の誘致企業である、(株)ミクニの菊川事業所において、特産品の販売会を実施いたします。

これは、菊川市との協定締結にご協力をいただいたミクニ様に市の物産品をお届けしたいとの思いで実施するもので、今回が初めての開催となります。

当市といたましても、菊川市との連携の強化を図るとともに、東海圏でのシティープロモーション、物産PRを行う絶好の機会と捉えておりますので、取材につきましてよろしくお願ひいたします。

#### (5)「たきざわ大地の恵み“まるっと晩さん会”2025」の開催について(観光物産課)

令和7年度滝沢市地産地消イベント事業「たきざわ大地の恵み“まるっと晩さん会”2025」を12月4日(木)に開催いたします。

これは、リンゴやサツマイモなど滝沢市の特産品のほか本市に関わる食材を使用した飲食イベントを開催し、生産者や事業者、飲食店関係者間の商談の機会とともに、消費拡大及び認知度向上を図ることを目的に実施するものです。

まるっと晩さん会は令和5年度に初めて開催し、3回目となる今回は、生産者や加工品製造者、事業者や飲食店、金融機関関係者等60~70名ほどを招待する予定しております。一般の方の参加はございません。

また、当日のメニューにつきましては、滝沢産の豚肉や野菜を中心とした構成を予定しており、15品程度の提供を予定しております。

滝沢市内の大地の恵みを様々な調理法で参加者の皆様に楽しんでいただきつつ、生産者と事業者がマッチングするきっかけとなるイベントになるよう進めておりますので、ぜひ報道関係者の皆様にも取材にお越しいただければと思います。

#### (6) 滝沢りんごワイン「ポムシードル」について（観光物産課）

株式会社岩手くずまきワイン様から発売され、好評をいただいております「滝沢りんごワインポムシードル」が、この度、アジア最大規模のワイン審査会「第9回フジ・シードル・チャレンジ2025」において、最高賞となるトロフィー賞と金賞を受賞いたしました。

「滝沢りんごワインポムシードル」は、滝沢産りんご100%で醸造した爽やかな香りと優しい甘みが特徴のスパークリングワインです。

コンクールでは、華やかな香り、甘みと複雑で奥行きのある味わいが評価され今回の受賞となりました。

料理と一緒に、また、食前酒として飲んでいただくのがお勧めです。

りんごを栽培していただいた農家の皆様には良質なりんごを収穫していただき心より感謝申し上げます。

#### 5 市発表案件について記者からの当日質問

記者：避難所に関するお問い合わせで、葉の木沢山活動センターに設置する非常用発電設備の完成時期の目途はいつごろでしょうか。

防災防犯課長：葉の木沢山活動センターに設置する災害時電源供給システムの完成については12月末を見込んでいます。本市は、非常用発電設備を有している施設が、市役所、滝沢総合公園体育館、ビッグルーフ滝沢であり、市指定避難所である葉の木沢山活動センターに設備を設置することで、停電時における避難所対応としての強化を図るものです。また、太陽光パネルなどを設置することで通常時は二酸化炭素排出抑制や電気料金の削減、停電時には安定的な電力供給が可能となり、大幅に災害避難所の強化になると見込んでいます。

記者：「まるっと晩さん会」について、この晩さん会は、市内生産者と市内外の業者をマッチングするというものでしょうか。

観光物産課長：そのとおりです。

記者：ポムシードルについて、フジ・シードル・チャレンジ2025は、いつ、どこで、どのくらいのエントリーがあったものでしょうか。

環境物産課長：9月22日に東京都で審査会が行われました。全国から35点を超える出品があったとのことです。

市長：ポムシードルは、今回2回目の受賞です。製造いただいている株式会社岩手くずまきワイン様の技術、品質の高さの賜物であることはもちろんですが、9回を数えるコンテストにおいて、2回目の受賞は、とても素晴らしいと思っています。昨年はアルコール度数の少ないポムライトも発売されました。若い人は、アルコール度数の少ないものを好む傾向もあると聞いていることから、皆さんにポムライトも試していただきたいと思います。

記者：たきざわ自分ごと化会議について、1400人の中から21人の参加があったということですが、年齢は何歳から何歳までの人たちなのでしょうか。

たきざわ魅力発信室長：各世代ごとに無作為抽出を実施して選ばれ、今回応募してくださ

った人は、20代から70代までの21人となります。

## 6 その他記者からの当日質問

記者：熊の出没について、市町村ごとに要望活動等行われていると思いますが、滝沢市の独自要望の動きや独自の対策について聞かせてください。

市長：様々な場面で要望活動をしています。先週も自民党鈴木俊一幹事長にお会いしてきました。県市長会でも要望活動を実施しました。市の単独要望も大切ですが、様々な機会に一緒にやっていきたいと思っています。滝沢市には猟銃の免許を持った職員がいます。独自の対策についてといいますか、他にも育成しようと試みましたが、実は、散弾銃の免許を取得するのに30万円ほど、銃を保管するロッカーも数万円など費用がかかるほか、さまざまな決まりがあり、銃の保管ロッカーはアパートに置くことができないといったものや取得後も散弾銃で10年間の経験を積まなくてはならず、しかもその10年は、1年間当たり2回、経験しなくてはならないといったものでした。このようなことから、ガバメントハンターは育成するのに時間がかかります。ですので、自衛隊OBや警察OBの協力をいただきなど、早期に実現することを考えていきたいと思います。ただし、公的に動物に対して射撃するということはあまり無いものと聞いていたため、さまざまな判断をしなくてはならないことから、まずは、旗振り役が必要と思っています。先ずもって、猟友会の皆さんを始め、市役所の職員も24時間体制で頑張ってくれています。このことをお伝えしたいと思います。